

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 6日更新

事務事業名		図書館情報誌発行事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	上原 哲也
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	前田 美和
	基本事業	66	学習の啓発			所属班	図書館班	(内線)	2536
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 11046	法令根拠	成果優先度評価結果	⑩
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市の広報へ2ページ分の記事掲載、および合志市市立図書館としての広報紙を毎月発行する。市立図書館ホームページの内容更新。また、「子ども新聞」や「ヤングアダルト新聞」の年2回の発行も行う。多くの住民に周知するため平成7年の開館年より開始。合併後、合志市立図書館として、それぞれの広報紙等をまとめたものを作製している。デザイン等格段にきれいになっている。合志市立図書館として全体の記事が掲載されるため、情報量としては多くなった。 * 24年度予算より事業名変更「図書館だより発行事業」から「図書館情報誌発行事業」へ
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	新着図書を紹介、各種行事、おすすめの本などの原稿を毎月作製する。図書館広報紙は印刷し、図書館取り置き用、各種学校・施設配布分に分け、送付する。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費)
【意見や要望】	市の広報紙に移動図書館車の巡回日程を掲載してほしいとの意見があった。市の広報紙については市民からのアンケートに毎月楽しみにしている等の意見がしばしば寄せられている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	図書館だよりを毎月発行している。「子ども新聞」「YA新聞」の発行(各年2回)及びその他テーマごとの図書リスト等の作製配布している。また、広報「こうし」の図書館コーナーにも記事を掲載している。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 23年度と同様図書館情報誌発行予定。 * 24年度予算より事業名変更「図書館だより発行事業」から「図書館情報誌発行事業」へ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 枚 → イ: 図書館広報紙の発行部	予算の主な増減の理由 「図書館だより発行事業」から「図書館情報誌発行事業」へ事業名変更
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	合志市民および図書館利用者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 世帯数 世帯 イ: 利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	多くの市民や図書館利用者に図書館の行事や資料の内容を伝え、利用の促進につなげる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 図書館用広報紙の持ち帰り数 枚 イ:
* ③ 成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
図書館カウンターに配置している「図書館だより」等の残数より、多くの市民に周知されたと判断した。多くの市民に周知したいため、設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア	枚	4,320	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	
	イ										
② 対象指標	ア	世帯	20,276	20,695	20,000	20,914	21,000	21,000	21,000	21,000	
	イ	人	127,668	127,510	150,000	127,510	150,000	150,000	150,000	150,000	
③ 成果指標	ア	枚	4,200	4,100	4,300	4,320	4,300	4,300	4,300	4,300	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	10	17	17	13	17	17	17	17
		(A) 事業費計	千円	10	17	17	13	17	17	17	17
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	5	5	5	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	590	485	500	560	500	500	500	500		
(B) 人件費計	千円	2,348	1,998	2,060	2,261	2,060	2,060	2,060	2,060		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,358	2,015	2,077	2,274	2,077	2,077	2,077	2,077		

事務事業名	図書館情報誌発行事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 利用者の多い月や、大きなイベントのある月は多くの持ち帰りがあったが、月途中のイベントの周知の時は残りが多かった。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 積極的に利用者に配布したりすることで、周知に努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 内容、レイアウトともに更に充実するよう工夫していく余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 図書館利用対象者すべてに周知するためには現在的手段が最良と思われる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 広報紙の発行枚数は現在妥当であると思われるため、削減は難しい。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在パソコンに詳しい職員が手際よく作業をしているため、業務時間的には短くなっている。非常勤職員にも手伝って紙面づくりはしているが、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 図書館で行う行事等の周知であるため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

イベント等には多くの利用者の参加があり、一定の成果があったと考える。今後もより多くの利用者へ周知できるよう工夫したい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 現状のまま実施	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					